

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 3 月 9 日(2023.3.9)

【公開番号】特開 2022-126165(P2022-126165A)
【公開日】令和 4 年 8 月 30 日(2022.8.30)
【年通号数】公開公報(特許)2022-159
【出願番号】特願 2021-24080(P2021-24080)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 1 日(2023.3.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

始動条件が成立したことにともづいて識別情報の可変表示を行い、可変表示が特定表示結果で表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて可変表示期間が異なる複数種類の可変表示パターンのうちから 1 の可変表示パターンを決定可能な可変表示パターン決定手段と、

非特別状態と該非特別状態よりも有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、
を備え、

30

前記状態制御手段は、前記特別状態として、前記有利状態に制御されたことにともづいて有利状態後特別状態に制御可能であるとともに、前記特定表示結果が表示されない可変表示が特定回数実行されたことにともづく特定条件が成立したときに特定回数到達後特別状態に制御可能であり、

前記有利状態後特別状態よりも前記特定回数到達後特別状態の方が前記有利状態に制御されないときに決定可能な可変表示パターンの平均可変表示期間が短く、

前記特定回数到達後特別状態において前記有利状態に制御されるときに決定可能な可変表示パターンのうち最も可変表示期間が短い可変表示パターンは、前記有利状態後特別状態において前記有利状態に制御されるときに決定可能な可変表示パターンのうち最も可変表示期間が短い可変表示パターンよりも可変表示期間が長い、

40

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

(1) 始動条件が成立したことにともづいて識別情報の可変表示を行い、可変表示が特定表示結果で表示されたときに遊技者にとって有利な有利状態に制御可能な遊技機であって、

50

前記有利状態に制御することを決定可能な決定手段と、

前記決定手段の決定結果にもとづいて可変表示期間が異なる複数種類の可変表示パターンのうちから 1 の可変表示パターンを決定可能な可変表示パターン決定手段と、

非特別状態と該非特別状態よりも有利な特別状態とに制御可能な状態制御手段と、
を備え、

前記状態制御手段は、前記特別状態として、前記有利状態に制御されたことにもとづいて有利状態後特別状態に制御可能であるとともに、前記特定表示結果が表示されない可変表示が特定回数実行されたことにもとづく特定条件が成立したときに特定回数到達後特別状態に制御可能であり、

前記有利状態後特別状態よりも前記特定回数到達後特別状態の方が前記有利状態に制御されないときに決定可能な可変表示パターンの平均可変表示期間が短く、

前記特定回数到達後特別状態において前記有利状態に制御されるときに決定可能な可変表示パターンのうち最も可変表示期間が短い可変表示パターンは、前記有利状態後特別状態において前記有利状態に制御されるときに決定可能な可変表示パターンのうち最も可変表示期間が短い可変表示パターンよりも可変表示期間が長い（例えば、変形例として示すように、時短状態 B において選択可能な変動パターンのうち最も特図変動時間が短い変動パターンは、時短状態 A において選択可能な変動パターンのうち最も特図変動時間が短い変動パターンよりも特図変動時間が長い部分）、ことを特徴とする。

この特徴によれば、特別状態に制御可能な遊技機において商品性を高めることが出来る。

10

20

30

40

50